

**妊婦健診の公費負担の増加を**

国は、「妊婦健診の公費負担は14回程度が望ましい、最低でも5回原則」としています。本市の公費負担は2回のみで、さらに助成回数を増やすように市に要望しました。

【質問】国は、5回分の交付税措置を行っているが、本市の実施は2回である。寝屋川市は7回である。

市は、公費負担の回数を増やす考えはあるのか。

【答弁】少子化対策として交付税は増額されているが、交付税の使い方は市町村の判断である。子育ての環境整備として、妊婦健診の重要性は十分理解している。今年度から公費負担を2回としたが、回数増は財政状況を勘案しながら検討したい。

【要望】最低5回の公費負担は実施すべきである。財源は、市民健診などの廃止により約5千万円の市負担が削減されている、これを充てるべきである。

交野市は、ことも医療費助成の取り組みが遅れているなど子育てがしづらいためにならっている。子育て世代への経済的負担となる妊婦健診への公費負担を増加すべきである。



その他の要望  
助産所や里帰り先の健診も公費助成の対象とする」と。

府下妊婦健診の公費負担実施状況

7回	1市	寝屋川市
6回	2市	
5回	9市	枚方市 他(来年実施含む)
4回	4市	門真市 他
3回	21市	大東市・四条畷市 他
2回	4市	交野市・守口市 他

●健診費(1回当たり)…5千円~1万以上

**早急な学校施設の耐震化を**

国は「学校耐震化促進法」を制定し、自治体の学校耐震化を推進するため、事業への補助率引き上げなどを行ないました。これを活用した耐震化を市に要望しました。

【質問】促進法には、補助率引き上げ(1/2から2/3へ)と交付税の拡大が含まれている。制度を活用し一日も早く耐震化すべきではないか。

【答弁】一般財源は軽減されるが、今後、耐震化を必要とする校舎の規模が大きいくともあり、法律の自身を十分精査し条件が合えば積極的に財政担当課と協議して進めていきたい。

【要望】市の事業負担は3割程度から1割に軽減する。市は、学校施設がごもたちの命を守り、地域の避難所としての役割が果たせるよう、予備的経費を投入するなど耐震化を押し進めるべきである。また公立幼稚園の耐震化も進めるべきである

※その他の質問

・小学校警備員配置の継続を要望

**第2京阪道路**

環境監視施設は、一番影響を受ける場所に

第2京阪道路は、H22年3月の全線開通をめざし、工事が急ピッチで進められ、大きな橋脚が現れています。環境への影響が心配されます。

事業者や交野市を含む関係5市などは、開通後の環境監視の基本方針案を発表しました。

基本方針案は、環境監視施設の設置場所を「第2京

「と、市に強く求めました。また、環境対策として、

- ①一般道路高架部への裏面吸音板の設置
  - ②倉治小学校付近の高速道路への裏面吸音板の設置
  - ③高速道路の中央分離帯への遮音壁の設置
- を再度要望しました。



**日本共産党 一般質問**

**発達障がいのある児童への支援を**

【質問】軽度の発達障がいなど、教育上特別な支援を必要とする児童生徒は、市内にどれくらいいるか。

【答弁】専門機関で診断を受けているのは60人程度、診断はないが支援を必要としているのはその数倍で、今後増加する傾向にある。



【質問】今年度から市内3校に、「支援教育支援員」が配置されている。取り組みの内容や効果はどうか。

【答弁】支援員の配置により、発達障がいのある児童にきめ細かい支援や学習指導ができるようになった。当該の児童だけでなく、学級全体が落ち着いた雰囲気でも学習できるなどの効果が現れている。

【要望】国の方針では、すべての小中学校に支援員を配置するようにと、交付税がついている。支援員を3校からさらに増やして、すべての小中学校に配置し支援体制を充実してほしい。

**公立幼稚園は廃止すべきでない**

【質問】市内の幼稚園には、障がいのある児童がどれくらい通っているか。また加配の保育士の配置数は。

【答弁】公立園に10名、私立園に6名の児童が通っている。また公立園では8名、私立園では2名の加配の保育士を配置している。

【意見】障がい児の受け入れには、公立幼稚園が中心的な役割を果たしている。市は、公立幼稚園を一つ廃園にする方向を出しているが、障がい児教育の面でも重要な役割を果たしている公立幼稚園は縮小・廃止するべきではない。



**浸水対策について**

【質問】農地の宅地化がすすみ、土地の保水力が低下する中で、雨水が下流に集中し、大雨による浸水被害が心配されている。市としての対策は。

【答弁】水路の流下能力を確保するため、管の洗浄、浚渫などを進めている。

「特定都市河川浸水被害対策法」に寝屋川流域(市内の南西部が該当)が指定され、開発指導要綱に基づき、開発者に浸水対策を指導している。

【質問】星田駅前商店街の浸水について、どう改善を図るのか。

【答弁】商店街を横断する水路が狭く、大雨で冠水することがある。早急に調査し対策を検討していきたい。

【質問】あわせて星田駅周辺から星田北地域につながる用水路の整備をどうすすめるのか。

【答弁】地元の水利組合から申請があれば審査し、市の補助事業として対応していく。

【要望】市としても、地元関係者と調整し、用水路の整備に努めてほしい。

ご要望・ご意見をお寄せ下さい。

ホームページ

<http://katano.jcp-web.net/>

